



スポーツ



<施設の概要>  
所在地：北海道札幌市東区北5条東8丁目1番  
<屋内練習場>  
敷地面積：8,259.29㎡  
建築面積：3,594.82㎡  
延床面積：3,700.12㎡  
グラウンド：50m×50m  
構造・規模：S造、地上2階建

<合宿所>  
敷地面積：3,472.97㎡  
建築面積：1,092.40㎡  
延床面積：2,204.24㎡  
寮室：32室、寮長室  
構造・規模：RC造、地上2階建て  
設計・監理：大成建設（株）  
施工：建築/大成建設（株）  
竣工：平成15年11月

## 演色性の高い高効率メタルハライドランプによるグラウンド照明。 器具配置に工夫し、プロ野球レベルの2000lxを確保

### ■北海道の大地に根ざす新球団の上昇感を象徴

本施設は、2004年の北海道日本ハムファイターズ誕生に合わせて建設されたもので巨大な空間をもつ練習場は、北海道の原風景と雄大な大地に力強く根ざし、天を貫く伸びやかで上昇感のある球団を象徴した施設となっています。

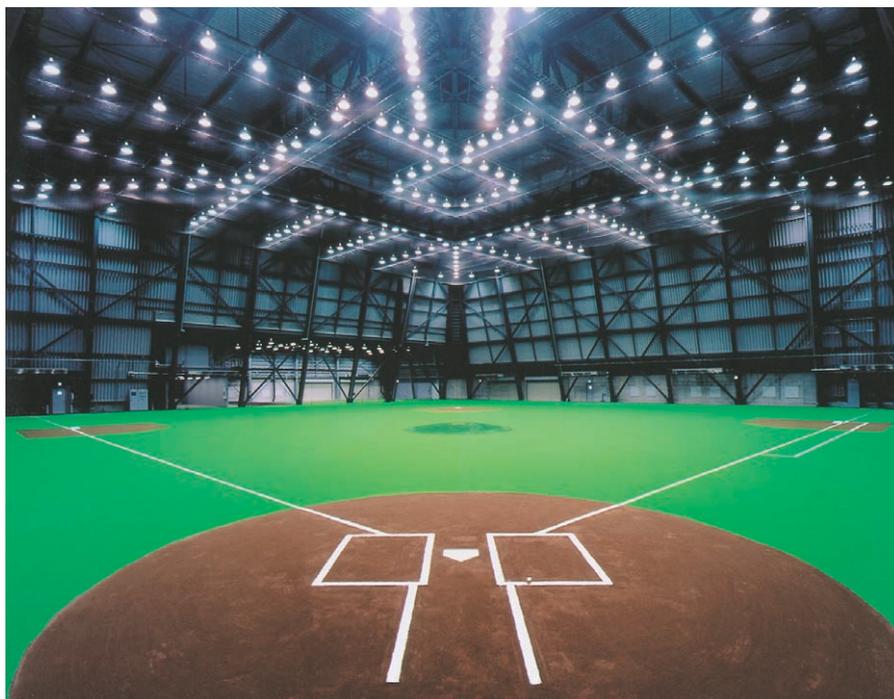
屋内練習場のグラウンド照明には、グレアを考慮して天井吊下形反射笠器具（下面ガラス付）239台を採用。内野面、バッテリー間など練習上重要なエリアに合わせて器具を配置し、また外野方向には構造体に沿って違和感なく、内野中央付近から放射状の直線列で配置して、選手が場内を見渡しても光源が直接目に入らないように考慮しています。ランプには演色性の高い（Ra=70）、700W高効率メタルハライドランプ（専用安定器）を使用し、設計照度はプロ野球レベルの2000lxと、テレビ取材においても十分な照度を確保し、明るく均斉度の高い照明による練習しやすい視環境を実現しています。合宿所のエントランス、ラウンジにはブラケットやスポットライトによる間接照明を採用。練習を終えた選手たちの憩いの場として、くつろぎ感を間接照明によるやさらかな光で演出しています。

またエントランスタワーは、ファイターズの「F」をモチーフにしたスリットを壁面に刻み込み、夜になると内部の光が外部に漏れ、「F」の文字が浮かび上がるように工夫し、ファイターズのエネルギーと上昇感を象徴し、発信しています。

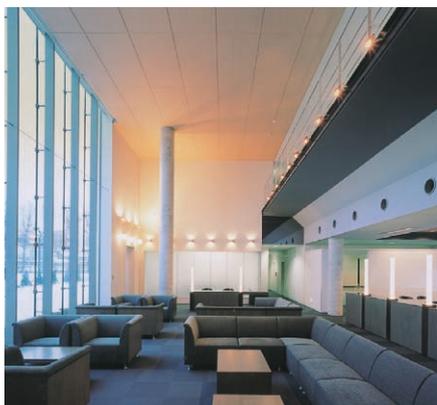
### ■照明コンセプト

Lighting design concept

- グレアのない明るく練習しやすいグラウンド照明
- 間接照明による選手たちの憩いの場の演出



室内練習場グラウンドの証明：700W高効率メタルハライドランプ天井吊下形反射笠器具を中央付近からの放射状の直線列で配置



合宿所エントランスホールの証明：間接照明を中心に採用し、を、憩い・くつろぎ感を高めている



合宿所外観の夜景：壁面に刻み込んだファイターズの「F」をモチーフにしたスリットが内部からの光で浮かびあがっている

屋内練習場内部

### ■主要照明器具一覧

設置場所	灯 具	形 名	台数	ランプ
屋内練習場	天井吊下形反射笠器具(下面ガラス付)	SN-10044A+Y-39L-C3	239	700W高効率メタルハライドランプ